

第 126 期

中間報告書 (2019年4月1日から2019年9月30日まで)

 神東塗料株式会社

証券コード 4615

株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第126期中間報告書（2019年4月1日から2019年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期間におけるわが国経済は、引き続き国内の設備投資、鉱工業生産は堅調に推移していましたが、中国経済減速等による外需の落ち込みや中東地域における地政学リスクの高まりなどの影響により、先行き不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発等による積極的な販売活動を展開するとともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当期間における売上高は116億3千8百万円（前年同期比5.0%増）となりました。損益面では、営業利益は3億5千3百万円（前年同期比12.5%増）、経常利益は4億4千3百万円（前年同期比22.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2億6千2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失5億3千4百万円）となりました。

中間配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、見送らせていただくことといたしました。なお、期末配当につきましては継続させていただく予定であります。なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

売上高

116億38百万円
(前年同期比5.0%増)

営業利益

3億53百万円
(前年同期比12.5%増)

経常利益

4億43百万円
(前年同期比22.6%増)

親会社株主に
帰属する
中間純利益

2億62百万円
(－)

事業の種類別の業績は次のとおりであります。

《塗料事業》

塗料事業の売上高は107億2千6百万円（前年同期比3.9%増）、経常利益は4億2千1百万円（前年同期比14.4%増）となりました。詳細は、次のとおりであります。

【インダストリアル分野】

- アルミ電着塗料分野は、輸出が昨年引き続き低調であったものの、国内主要ユーザーの生産ライン獲得による出荷増により、売上高は増加いたしました。
- 工業用電着塗料分野は、配電盤、農機、住宅建材向け出荷が堅調に推移した他、新規ラインの獲得や売価改善の実現もあり、売上高は増加いたしました。
- 粉体塗料分野は、主力の鋼製家具、家電、電気機器メーカー向け出荷が引き続き堅調に推移したため、売上高は増加いたしました。
- 工業用塗料分野は、主力の建設機械、工作機械、形鋼、ゴルフボール向け出荷がいずれも堅調に推移した他、新製品の投入も順調に推移したため、売上高は増加いたしました。

【インフラ分野】

- 建築塗料分野は、集合住宅向けのリフォーム用外装材や工場向け床材の出荷が好調に推移した他、工事売上の前倒しがあったことから、売上高は増加いたしました。
- 防食塗料分野は、昨年好調であった新設橋梁物件の出荷が低調に転じた他、民間プラント向けの大型案件受注が減少したため、売上高は減少いたしました。
- 道路施設用塗料分野は、天候不順やG20開催等による交通規制の影響を受けたものの、すべり止め材、カラー舗装材、段差修正材等の高付加価値品の出荷が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

【軌道材料分野】

- 軌道材料分野は、整備新幹線向け出荷が開始されたものの、レール面整正用可変パッドの出荷が低調に推移し、売上高は減少いたしました。

【自動車用塗料分野】

- 自動車用塗料分野は、輸出は回復に転じたものの、国内向け出荷が主要ユーザーの減産の影響により低調に推移し、売上高は減少いたしました。

《化成品事業》

受託生産している化成品事業の売上高は9億1千1百万円（前年同期比19.7%増）、経常利益は2千1百万円（前年同期は経常損失6百万円）となりました。

わが国経済に関しましては、雇用所得の改善による個人消費が堅調に推移しているものの、中国経済減速の影響による自動車や半導体関連工作機械などの設備投資の低下や輸出需要の低下を背景に、経済成長率は鈍化すると見込まれ、不透明な状況におかれています。

このような状況の中で、当社グループとしましては、10年後のあるべき姿に向けて、この10年間で3つのフェーズ（準備・実施・収穫）で区切り、2020年度から始まる次期中期計画を第1フェーズ（準備）と位置づけて「国内市場における高機能化による収益向上」、「新規製品分野、海外市場分野への事業拡大」、「製販研管全分野における生産性改善」を3つの経営基本目標として業績改善に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 高 沢 聡

連結計算書類

中間連結貸借対照表

(2019年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
(資産の部)	(35,114,966)	(負債の部)	(17,898,276)
流動資産	12,820,331	流動負債	9,789,141
現金・預金	2,874,924	支払手形	1,654,914
受取手形	2,763,155	買掛金	4,185,856
売掛金	4,410,839	短期借入金	2,934,140
商品・製品	1,828,410	未払金	491,376
原材料・貯蔵品	721,751	未払法人税等	140,599
前払費用	41,516	未払費用	71,145
未収入金	75,778	預り金	44,052
その他流動資産	118,259	賞与引当金	257,023
貸倒引当金	△ 14,304	役員賞与引当金	5,835
固定資産	22,294,634	その他流動負債	4,198
有形固定資産	19,280,210	固定負債	8,109,134
建物	1,929,638	長期借入金	1,840,990
構築物	193,013	長期預り金	528,132
機械装置	1,001,051	退職給付に係る負債	1,721,275
車輜運搬具	49,244	再評価に係る繰延税金負債	3,910,066
工具器具備品	296,060	その他固定負債	108,670
土地	15,800,165		
建設仮勘定	11,036	(純資産の部)	(17,216,689)
無形固定資産	321,897	株主資本	8,388,158
借地権	166,531	資本金	2,255,000
電話加入権	18,210	資本剰余金	585,223
ソフトウェア	130,356	利益剰余金	5,552,100
ソフトウェア仮勘定	6,800	自己株式	△ 4,165
投資その他の資産	2,692,526	その他の包括利益累計額	8,052,167
投資有価証券	1,879,264	その他有価証券評価差額金	179,209
長期貸付金	70	土地再評価差額金	7,929,773
長期差入保証金	66,436	為替換算調整勘定	△ 64,413
繰延税金資産	627,188	退職給付に係る調整累計額	7,598
その他投資金	120,443	非支配株主持分	776,363
貸倒引当金	△ 877		
資産合計	35,114,966	負債及び純資産合計	35,114,966

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(2019年4月1日から
2019年9月30日まで)

科 目	金 額
	千円
売上高	11,638,302
売上原価	9,329,316
売上総利益	2,308,986
販売費及び一般管理費	1,955,442
営業利益	353,543
営業外収益	
受取利息及び配当金	15,146
持分法による投資利益	71,757
雑収益	17,266
営業外費用	
支払利息	4,401
雑損失	9,744
経常利益	443,567
特別損失	
固定資産除却損	906
税金等調整前中間純利益	442,661
法人税、住民税及び事業税	137,094
法人税等調整額	850
中間純利益	304,716
非支配株主に帰属する中間純利益	42,699
親会社株主に帰属する中間純利益	262,016

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (2019年9月30日現在)

- 設立 1933年4月17日
- 資本金 2,255百万円
- 主要な事業内容
塗料の製造販売、化成品の生産受託
- 事業所
本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号 06-6426-3355
東京事業所 〒136-8611 東京都江東区新木場四丁目3番17号 03-3522-2111
営業所 北海道・東北・静岡・名古屋・北陸・中国・四国・九州
研究所 尼崎・東京・千葉
工場 尼崎・千葉
- 従業員 455名 (連結)
327名 (単体)

役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役 社長	高	沢	聡
代表取締役 常務取締役	光	原 俊	夫
常務取締役	黒	田 将	伸
常務取締役	藤	基 法	秀
取締役	上	鶴 茂	喜
取締役	長	尾 俊	彦
取締役(社外)	紙	谷 忠	幸
監査役(常勤)	高	田 文	生
監査役	安	川 一	郎
監査役(社外)	檜	尾 昭	彦
監査役(社外)	酒	多 敬	一

事業内容と主要な製品

◇ インダストリアル分野製品

インダストリアル分野では、工業用の塗装分野において環境対応型塗料として優れた、電着塗料・粉体塗料・水系塗料・ハイソリッド塗料を主力に、建材・産業機械・鋼製家具・電気製品等々の多様な工業塗装のニーズに応え、最適な塗料を開発・販売しております。

主 な 用 途	主 要 な 製 品
アルミサッシ、鋼製家具、電気製品、建材などの電着塗料 電設機材、配電盤、道路資材、水道用鉄管などの粉体塗料 窯業建材、産業機械、建設機械、鉄道車両、建材などの水系塗料、ハイソリッド塗料	エスピアED-AL、シントーサクセード イノボックス、シントーパウダー Sセラム、オーデックス、エスバ、タフポリン スプラエース

◇ インフラ分野製品

インフラ分野では、建築用の塗装分野や、プラント・橋梁といった防食用の塗装分野において環境に優しい水系塗料をはじめ機能性塗料、省工程塗料など特長ある塗料とともに、道路の交通安全及び遮熱機能を有した道路用塗料を販売しております。

主 な 用 途	主 要 な 製 品
室内環境配慮型塗料 外壁改修用塗料（高耐久高耐候） 水系上塗塗料 水系さび止め塗料 建築鉄部用塗料 屋根用塗料 遮熱塗料 床用塗料、蓄光塗料 プラント、橋梁分野の超耐候・省工程塗料 貯水槽、浄水場の飲料水用無溶剤塗料 区画線、すべり止め、カラー舗装等の道路用塗料	ページエコシリーズ、シルキークリーン フロンティアシリーズ及びHOMEシステム 水性グランツシリーズ、水性スペースエース 水性デラスト、水性さびコート シントーハヤブサシリーズ シントールフィンギングシリーズ サーモバリアシリーズ、SPリフレクター ユカトップシリーズ、ロードカラーⅢ シントーフロンシリーズ、超速乾リンサンデラストHB、スーパーさびコートⅡシリーズ チョスイコート、水クリーン143 シントーライナー、SPロード、シントーカラーグリップ、水性ロードカラーⅡ、SPダンフリー

◇ 軌道材料分野製品

鉄道軌道の維持・補修用の高分子材料を取扱っております。

主 な 用 途	主 要 な 製 品
道床安定剤 スラブ補修材 軌道補修材	シントーオービット Rシリーズ、Jシリーズ シントーオービット Sシリーズ、SSシリーズ SP-104・107・107T SPホールド、スピードパック シントーオービットSDスプレー

株 主 メ モ

事業年度
定時株主総会
基準日

4月1日から翌年の3月31日まで

毎年6月開催

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して
定めた日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関
株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

大阪市中央区北浜四丁目5番33号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

 0120-782-031

(インターネット

[https://www.smtb.jp/personal/agency/
index.html](https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

ホームページURL)

公告の方法

電子公告 当社のホームページに掲載します。

<https://www.shintopaint.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子
公告をすることができない場合は、日本経済新聞
に掲載します。

上場金融商品取引所

東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会
は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されて
いない株主様は、上記の電話照会先にご連絡下さい。

【特別口座について】

株主電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していな
かった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口
座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及
び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。